

令和7年度第1回八千代市総合教育会議議事録

1	日 時	令和8年1月14日（水）
	開 会	午前11時00分
	閉 会	午前11時50分
2	場 所	八千代市教育委員会庁舎2階 大会議室
3	出席者【構成員】	市長 服部 友則 (敬称略) 教育委員会教育長 嶺岸 秀一 教育委員会委員 石井 伸一 教育委員会委員 川嶋 一永 教育委員会委員 左海 尚子 教育委員会委員 三橋 洋子 【説明員】 教育次長（学校担当） 児玉 健司 教育次長（社会教育担当） 石原 雄二 教育総務課長 渡邊 久貢 学務課長 片波見昌浩 指導課長 加藤 英昭 指導課主幹 安蔵 重幸 教育センター所長 向 智広 教育支援センター所長 長島 秀一 保健体育課長 宗像 洋 生涯学習振興課長 井澤 延浩 文化・スポーツ課長 大野 光弘 文化・スポーツ課主査 清宮 孝紀 【事務局】 企画部長 赤城 哲寛 企画部次長（企画経営課長事務取扱い） 加瀬 充男 企画経営課主幹 岩田 淳 企画経営課主査 小島 弘順 企画経営課主任主事 永井 大裕

4 開 会

○服部市長 皆さんこんにちは。ただいまから、令和7年度第1回八千代市総合教育会議を開会いたします。

本日の議題は、一つ目として「不登校児童生徒支援について」、二つ目として「スポーツの活性化について」であります。

特に不登校児童生徒に対する支援は、先に行いました12月議会でも、議会の先生からいろいろな質問があって、市としての方針をお伝えしたところでございますけれども、本日は、教育委員会の意向と教育委員の皆さんとの意見等をすり合わせながら、共有していきたいと思いますので、質疑に際しましては、きたんのないご意見、ご質問を頂ければと思います。

いずれにしても、大事な会議でございますので、限られた時間かもしれませんけれども、よろしくお願ひ申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。

それでは本日はよろしくお願ひいたします。

5 議事録署名人の指定

○服部市長 次に、議事録署名人の指名を行います。

私のほか、左海委員、よろしくお願ひいたします。

○左海委員 はい。

○服部市長 それでは、早速議事に入らせていただきます。

6 議題1 不登校児童生徒支援について

○服部市長 議題1「不登校児童生徒支援について」教育委員会からご説明をお願いいたします。

○加藤指導課長 それでは私から、「不登校児童生徒支援について」ご説明申し上げます。

はじめに、不登校の定義と八千代市の現状をご説明いたします。

不登校とは、病気や経済的理由による欠席を除き、同一年度に30日以上の欠席をしている状態のことをいいます。報道でもありますとおり、全国的にも不登校が増えていますが、八千代市の現状を掲載いたしました。

全国同様、八千代市の現状としましても、年々増加傾向にあります。小中

学校とともに、令和5年から令和6年にかけて、増加率は緩やかになっております。

不登校対策の一つとして、開設している校内教育支援センターの現状をご説明いたします。

校内教育支援センターとは、不登校や不登校傾向のある児童生徒が、学校に在籍したまま安心して学び・過ごせる校内の居場所です。校内に別室・専用の教室が設置されています。主な目的として、教室復帰を目的化しすぎず、子供の状況に応じた学びと安心を確保いたします。

主な支援内容としましては、個別の学習支援や生活のリズムづくりの支援、教職員や支援員との相談、必要に応じて、段階的な教室への復帰、行事へも参加いたします。この教室を設置している学校は、こちらにお示ししたとおりの数となっております。今年度中に残りの2校についても設置を目指しております。

校内教育支援センターの成果と課題についてです。

はじめに、成果といたしましては、校内教育支援センターを利用している児童生徒について、欠席数の減少が見られました。また、設置している学校からは、「教室に行くことが困難な児童生徒にとって、新しい場所ができると感じることができ、積極的に登校できるようになった」との声や、「一斉指導による学習の不適応を起こし、教室に入ることができない児童生徒の支援を行うことができた」との声が上がっておりまます。これらは、校内教育支援センターを開設したことによる効果と考えられます。

設置の課題についてですが、この部屋に常駐できる教職員が配置できない学校が多数あり、校内での人的配置に苦慮している状況が見受けられます。

また、利用人数の増加に伴う対応や、この教室内でのあり方として、居場所を求める保護者と学習支援を求める保護者がいるなど、各家庭・児童生徒のニーズの違いがみられます。

続いて、（校外）教育支援センターフレンド八千代についてです。

八千代市教育委員会が設置・運営する校外教育支援センターで、主にこちらも不登校、又は不登校傾向にある小中学生を対象とした支援の場となっております。目的といたしましては、学校に行きづらさを感じている児童生徒に安心して過ごせる居場所を提供いたします。

主な支援の内容としましては、少人数、個別を中心とした学習活動、生活リズムづくりや対人関係の支援、教育相談など個々に応じた対応をしております。利用人数については、表のとおりとなっておりますが、昨年度と比較すると、現段階では減少しております。小学校と中学校で比較すると、中学生の利用者が多くなっております。施設といたしましては、老朽化が進んでおり、体育室の使用が令和2年度から中止となっております。

フレンド八千代の成果と課題です。

成果といたしましては、学校には通うことができない児童生徒が、この施設を利用し、中学校卒業後の進路も決めて卒業しております。課題といたしましては、現状、施設内ロビー、近隣の公園、小学校にて体育活動を実施しておりますが、体育室の利用ができない状況となっております。また、フレンド八千代の設置場所が市の南端部に位置していることから、市の北部に住んでいる方が通所しづらい状況があります。

以上、不登校児童生徒支援についてのご説明でございます。委員の皆様からご意見を頂ければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

○服部市長 ただいま教育委員会からご説明がありましたけれども、これについて、皆さんからご意見、ご質問があつたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。左海委員。

○左海委員 今のお話とても分かりやすく、ありがとうございました。

今後の不登校児童生徒支援について、教育委員会の考え方を教えてください。

○加藤指導課長 教育委員会といたしましては、大きく二つの視点で取組を行っていく方向でございます。

一つ目は、校内教育支援センターの全校設置になります。現在、設置できていない学校が小学校で2校あります。まずは、その学校が年度内に設置ができるように進めてまいります。また、設置できている学校についても、専任で担当教職員を配置できている学校は全部で6校となっております。人員の配置につきましては、引き続き関係部署と調整を図っていく考えでございます。

二つ目として、フレンド八千代の今後のあり方について検討しております。フレンド八千代につきましては、先ほどもお伝えしましたとおり、施設の老

朽化に伴う改修工事が必要な状況がございます。また、市の南端部に位置していることから、市の北部に住んでいる方の通所の距離が遠いといった課題がございます。

○左海委員 ありがとうございます。課題があると思うのですが、子供たちが安心して過ごせる居場所が増えていきますようよろしくお願ひします。

○服部市長 他にございますか。三橋委員。

○三橋委員 校内教育支援センターでは、どのような学習を行っておりますか。

○加藤指導課長 校内教育支援センターを利用している子供たちの状況はそれぞれ異なっておりますが、その異なる状況を踏まえて、個別に支援を行っている状況でございます。例えば、それぞれの子供たちの学級を担当している先生から、使用したプリントをもらったり、タブレット端末を利用したりして、個別の学習を行っているような現状となっております。

○三橋委員 ありがとうございます。

○服部市長 他にございますか。石井委員。

○石井委員 校内教育支援センターを運営する上で、職員は足りているのでしょうか。

○加藤指導課長 令和7年度における校内教育支援センターへ職員を配置できている学校は、先ほど申しましたとおり、県と市合わせて6校にとどまっております。また、各学校に配置している特別支援教育の支援業務に、今年度から校内教育支援センターにおける学習支援を追加したものの、本来の業務もあり、実際には学校での十分な対応には至っていない状況となっております。今後も教職員の配置を増やせるよう関係部署と調整してまいりたいと思います。

○石井委員 ありがとうございます。人員は確実に必要だと思いますので、今後も調整を図っていただければと思います。

○服部市長 他にございますか。三橋委員。

○三橋委員 フレンド八千代についてお伺いいたします。フレンド八千代へ通所している子供は、どの地区から多く来ておりますか。

○長島教育支援センター所長 フレンド八千代へは、八千代台地区、高津・緑が丘地区、大和田地区の子供たちが多く通所しています。

○服部市長 他にございますか。三橋委員。

○三橋委員 フレンド八千代について、市の北部に居住の方たちにとって、通所距離が遠い状況にありますが、場所を見直す考えはありますでしょうか。

○加藤指導課長 現在、児童数が少ない学校の余裕教室を利用して移転・増設等ができないか検討しております。例えば、村上北小学校や萱田南小学校など比較的児童数の少ない学校が候補地の一つとして考えられます。

○三橋委員 ありがとうございます。

○服部市長 他にございますか。川嶋委員。

○川嶋委員 フレンド八千代に関して、施設の老朽化、昭和49年の建物という形でかなり老朽化しているのではないかと思います。体育室を使えない状況という話なんですね。そうすると移転を考えたほうがいいのではないかと思います。

先ほど例として、村上北小学校と萱田南小学校という話があって、両方比べますと萱田南小学校のほうが市の中心部に近いわけですね。交通の便も良いし、通う状況から見れば萱田南小学校のほうがいいのではないかと思います。

教育委員会もいろいろな考えがあると思いますけれども、いろいろな形の中で一番良い方向の中で決めてもらえばいいかなと思います。施設が老朽化しているということですので、できればなるべく早い状況の中で移転ができればいいのかなと考えておりますけれども、どうでしょうか。

○加藤指導課長 今お話をありました、通所するとなったときの交通の便ですか、八千代市の中心部に位置すること、通所の距離を考えますと萱田南小学校は候補として考えられると思っております。それから、萱田南小学校の一つの利点といたしまして、市の総合生涯学習プラザとの複合施設となっていることから、不登校の子供たちの登下校におきまして、他の子供たちの通常の昇降口から入るルートとは別の動線が使えるといった点もあると考えております。

○川嶋委員 利便性から考えて、2校の中で比べるといい環境ではないかと思いますので、なるべくそのような方向で進められれば進めてもらいたいと思います。よろしくお願ひします。

○服部市長 川嶋委員、今のはご意見ということでよろしいでしょうか。

○川嶋委員 そうですね。

○服部市長 教育委員会は、そういう意見が出たということでとどめておいてください。

他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。

それでは、他にご意見、ご質問がないようなので、次の議題に移りたいと思います。

7 議題2 スポーツの活性化について

○服部市長 議題2は「スポーツの活性化について」です。教育委員会からご説明をお願いします。

○大野文化・スポーツ課長 スポーツの活性化について説明をさせていただきます。

第5次総合計画の第2章第4節では、将来のまちの姿として「市民の誰もがスポーツを楽しむことのできる、スポーツ環境が整備され、健康で活力に満ちたまち」を掲げております。

スポーツの活性化についての主な成果について、令和6年度までの実績を報告します。パリオリンピック・パブリックビューイングの開催、メダリスト祝賀パレード・祝賀会の開催、北海道釧路市との友好都市協定の締結などを行っております。

また、令和7年度につきましては、八千代市出身アスリートの応援と、運動できる環境整備の推進などを行ってまいります。

令和6年度までに行ったイベントですが、左上の写真は、パブリックビューイングの模様です。令和6年度の7、8月に、本市出身選手の角田夏実選手と安楽宙斗選手がパリオリンピックに出た際に、市民会館、イオンモール八千代緑が丘を会場にパブリックビューイングを開催いたしました。

下段の写真は、令和6年11月9日（土）にゆりのき通りでのパレード、その後市民会館大ホールにて催した祝賀会の様子になります。

次に右上の写真になりますが、釧路市とは、昭和57年度から野球やサッカーなどの親善試合を通じてスポーツ交流が始まり、これまで長きにわたり友好を深めました。今後は小学生によるスポーツ交流にとどまらず、幅広い分野における交流と協力を推進していくため、令和6年8月に釧路市と

友好都市協定を締結いたしました。

続きまして、令和7年度に行った取組になります。上段の写真は安楽選手のシーズン報告会の模様です。安楽選手が、プロ1年目の令和7年も世界選手権のボルダー男子で初優勝するなど大きな活躍を見せてくれました。令和7年を振り返り、市役所でシーズン報告会を行いました。

その下は柔道教室の模様です。令和7年11月15日に、角田夏実選手による柔道教室を八千代警察署内の柔剣道場を会場とさせていただき開催いたしました。

続きまして、市内で運動できる環境整備として、市民体育館の改修工事を昨年度より引き続き行っております。令和8年10月のリニューアルオープンに向け、順調に工事を進めております。

続きまして、左上の総合運動公園テニスコートの写真となります。総合運動公園内の8面につきましては、ハードコートのままでしたので、子供や高齢者でも安心・安全にプレーすることができるよう人工芝コートに改修をいたしました。

右上の写真はアスレティックタイマーとなります。総合グラウンドの陸上競技におきまして、観客からどのくらいのタイムが出ているのかが分からぬ状況でしたので、12月議会において予算案を上程し、承認されたことから、現在、購入の手続を進めているところです。

下段の写真は昨年12月のニューリバーロードレースの模様です。大会中は雨が降っておりましたが、市内の学生やスポーツ関係団体などのボランティアスタッフ、協賛企業が一丸となり開催し、無事に終えることができました。本大会は、本市の「支える」スポーツとしてモデル的なスポーツイベントとなっております。

次に、令和8年度から検討していることについて説明させていただきます。高校総体の対象にならないスポーツ大会などの国際大会、全国大会などに出場する団体及び個人に対し、スポーツ活動奨励金を交付できるよう現在準備を進めております。

また、市民体育館の令和8年10月のリニューアルオープンにあわせ、角田・安楽両選手の功績をたたえる展示スペースを設置できるよう調整しております。

市民体育館のリニューアルオープンにあわせ、角田選手のイベントなどを企画するほか、スポーツ協会やスポーツ推進委員が行う事業をはじめとし、様々な催しの中で子供から高齢者までが参加でき、八千代市全体の活性化が図られるよう推進してまいりたいと考えております。

説明は以上になります。

○服部市長 令和6年度までの取組と令和7年度の取組、そして令和8年度以降の取組の予定まで説明がございましたが、それについてご意見、ご質問等がありましたらお願ひいたします。石井委員。

○石井委員 令和6年度に4年に一度のオリンピックが開催され、角田選手と安楽選手がメダルを獲得し、本当にすばらしいオリンピックゲームだったんですけども、八千代市のスポーツへの認識も変わりましたか。

○大野文化・スポーツ課長 両選手のパフォーマンスは、八千代市民だけではなく、世界中に感動を与えたものと考えています。本市といたしましても、本大会を契機として、スポーツへの関心が高まったものと考えております。

引き続き、「する」スポーツだけではなく、「観る」スポーツ、「支える」スポーツといった様々な関わり方により、親しむ機会を増やしていきたいと考えております。

○服部市長 他にございますか。石井委員。

○石井委員 僕の案だから、ちょっと聞いてもらいたいのですけれども、このオリンピックゲームに出る選手、特にメダリストは本当に世界中から注目されて、角田選手、安楽選手は本当に有名になったと思うのです。スポーツ以外でもいっぱいいるのですけれども、スポーツに限れば、八千代市出身で活躍している選手がいっぱいいて、最近だと野球の石塚選手も巨人軍のドラフト一位ですばらしい選手、千葉ロッテにも八千代市出身の選手もいるし、他競技でどれだけいるか把握していないけれども、これだけBリーグも盛んになれば、そのうち出てくるであろうし、そういうことをもっと市民に周知できればと。意外と中学校は、もう学校の部活動をやっていなくて、地域リーグとかに入って、高校も県外に行ってしまうと、もうはっきり言って分からぬですよね。ドラフトにかかって八千代の子なんだという、そんなイメージが多かったと思うのですけれども、それでもまだ知らない人も多いので、小学生ぐらいから学校で周知できればいいかなと。こういう先輩がこういう

スポーツで頑張っている子がいるんだよと教えてあげると、その子が家に帰って、親との会話の中で出してくれば、その親もそういうことを知るだろうし、会話が増えるチャンスかもしれない。ホームページに載せてくれているのは本当に有り難いのですけれども、小学校時代ぐらいから周知することも考えてもらえると有り難いなと思います。お願いします。

○服部市長 ご意見ということでよろしいですか。

○石井委員 はい。

○服部市長 他にございますか。川嶋委員。

○川嶋委員 角田選手と安楽選手、八千代市初めてのオリンピック出場で金と銀ですよね。やはりすごい功績でないかと思うのですよね。

今回、体育館の改修にあわせて、角田選手と安楽選手の記念展示スペースの設置を考えているという話ですけれども、せつかくだから途切れないので八千代市出身選手が金・銀を取ったことを、末永く市民に知ってもらったほうがいいのではないかと思うのですよね。そういった取組をしてもらって、それによって子供たちがスポーツに関してもっと活性化をしていく形で、石井委員が言ったように他のスポーツに関しても、スポーツに関して興味を持つてもらうためにも、そのときばかりでなく、末永く続けていただけるような形の対策を取ってもらえばいいかなと思います。意見としてよろしくお願いします。

○服部市長 他にございますか。左海委員。

○左海委員 スポーツを活性化するために努力されていると思いますが、スポーツの活性化を進める上で、課題などありましたら教えてください。

○大野文化・スポーツ課長 第3期八千代市スポーツ推進計画で具体的な取組として、「スポーツ活動の推進」「スポーツ環境の整備」「スポーツ施設の充実」を掲げております。先ほど説明したとおり、これらの取組を行い、スポーツの活性化に向け推進しておりますが、スポーツ関係団体などの協力も必要と考えております。例えば、ニューリバーロードレースですが、スポーツ協会傘下の多くの団体の皆様をはじめ、600人以上のボランティアの方々のご理解・ご協力がなければ大会自体を運営することはできません。高齢化や人口減少などが進むことが想定される中、今後は、ボランティアスタッフなどの担い手の確保が課題となるものと考えております。

○左海委員 ありがとうございます。課題がクリアできることを願っております。

○服都市長 他にございますか。三橋委員。

○三橋委員 高齢者に対するスポーツの推進ということで、どのような取組をされておりますか。

○清宮文化・スポーツ課主査 高齢者からの依頼を受けまして、フロアカーリングやウォーキング講座を開催しております。スポーツ施設を管理しております指定管理者とも連携し、市民体育館、勝田台・八千代台小体育館において、健康体操やヨガ教室を開催しております。これらの活動は、健康維持、介護予防に有効であるだけでなく、生きがいや社会参加につながっていくことから、今後も継続できればと考えております。

○三橋委員 ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします

○服都市長 他にご質問ありませんか。

ないようであれば僕からよろしいですか。先ほどから話が出ているように、おととしのパリオリンピック以来、メダリストの活躍に刺激されて、俺も私もという形があるのかどうか分からぬけれども、昨年1年を通じて八千代市のスポーツレベルがすごく上がったような気がします。特に昨年12月21日の全国高校駅伝で八千代松陰高校が5位入賞ということで、順位は下がったけれども、タイムはもうちょっと上がっているし、23日は八千代高校がウインターカップに21年ぶりに出場ということで、残念ながら1回戦で負けたけれども、その後、萱田ジュニアバレーボールクラブが全国大会に行つたはずなのだけれども、その結果について承知していたら教えて欲しいのですけれども。

○大野文化・スポーツ課長 申し訳ございません。手元に資料がございませんので、今調べてご報告を申し上げさせていただきたいと思います。

○服都市長 おそらくうちも、全国大会などの周知に関しては広報やちょを経由して、さっきもお話をあったように意外と知らないという人が多いので、こちらとすれば市を挙げて広報しているつもりでいるのだけれども、その結果についてもお知らせできるといいかなと思ったので話をさせてもらいました。

いずれにしても今年の10月には、市民体育館がリニューアルオープンされるので、今準備段階の最終段階に入って教育委員会は大変だと思いますけれども、市民の皆さんに喜んでもらえるような、そしてオリンピアンをたたえることができるようなイベントを考えていただければと思います。

それから、先ほど記念スペースという話が出たのだけれども、とりあえずはオリンピアンの2人の記念品を展示すると思うのだけれども、うれしい活躍は、世界選手権とか、あるいはプロ野球選手でもいいのだけれども、石塚君が来シーズンレギュラーに固定されて、何かいい成績を残せたらバットやグローブを寄贈してもらったりとか、そういうふうに引く手あまたで、ころころ展示する内容が変わるようだとうれしいよね。ちょっとそのことだけ期待をして、僕の話は終わりたいと思います。

「スポーツの活性化について」はよろしいでしょうか。

8 その他

○服部市長 議題はここで終わりなのですけれども、その他に教育委員の皆さんからご質問があれば、出していただければと思います。石井委員。

○石井委員 毎回同じ質問をしている気がするのですけれども、3校の跡地利活用ですね。これだけ年数がたってくると、本当にまずいなというのがありますて、統廃合を進める上で、廃校になる学校をきちんとといい形で残すという約束の下、新しい学校ができたものですから、地域の住民の方のためにもそこは本当に進めてもらいたい。

3校のうちで差をつけるわけではないのですけれども、阿蘇小学校に関しては八千代で一番歴史があるし、阿蘇という名前が学校以外では地名もないですから、きちんと残していくなくてはいけないことだと思っているので。今、阿蘇小学校があるところ、体育館も地域のスポーツ団体が使っていると思うのですけれども、校舎を記念スペース、阿蘇小学校・米本南小学校・米本小学校の各記念品を持ち寄って記念スペースを常設で作ってもらえた本当に有り難いなと思うし、八千代は文化財・出土品の宝がいっぱいあるので、郷土博物館の第2みたいな形でね。今の郷土博物館も元は村上小学校の跡地に造っているわけですから、あそこにたしか村上小学校の昔の写真が飾ってあって、こんな感じで学校があったんだという認識をしたものですから、やはりそういうふうに阿蘇小学校に行ったときに、ここが小学校でこれだけ

歴史があるところだったんだなという、知らない人が行っても分かるようなスペースも欲しいし、そういう出土品もきちんと管理できること。

この前、図書館で出土品の体験みたいなものをやったんですよ。ああいうのもすごく評判がよかったです。小学校でそういうものをたまにやれるようなことができればいいなと思うので、記念館と出土品を管理する場所で使えたらうれしいなと思っています。

○服部市長 事務局、回答をお願いします。

○加瀬企画部次長（企画経営課長事務取扱い） 今、委員から旧3校の利活用の進捗状況ということで、ご意見、ご要望を頂きました。本日は担当部局であります財務部の資産管理課は出席をしておりませんが、把握している範囲で企画部から回答させていただきたいと思います。

旧阿蘇小学校、旧米本小学校及び旧米本南小学校の旧3校の利活用につきましては、令和6年度に旧阿蘇小学校に対象を絞りまして、当面の間、行政的利活用を行う旨の決定をしたということになっております。行政的利活用につきましては、校舎でいえば、文化財の倉庫であるとか、シルバー人材センターの倉庫であるとか、備品の一部保管に使用されたりとか、体育館につきましては一般開放を行っているということでございます。

令和7年度につきましては、旧米本小学校及び旧米本南小学校の2校につきまして、千葉県が主催します「空き公共施設等を活用した企業誘致促進事業」に登録いたしまして、利活用を希望する民間事業者とのマッチング支援を活用いたしまして、市場性の調査であるとか、民間事業者とのヒアリングを実施するとともに、他の自治体の事例の把握や、関係部署などとの協議、都市計画法上における用途地域の利用制限等の課題の精査を進めてきたところで、今後につきましても、県のマッチング支援の活用を継続しつつ、適切な公共施設の再配置の推進に努めてまいりたいというふうに伺っております。

報告となります以上となります。

○石井委員 教育長、この問題についてはずっと一緒にやっていた記憶があるのですけれども、本当に何年にもわたって。いろいろと経緯は分かっていると思いますが、教育長はどうのように思っているのかなと思って。突然申し訳ないですけれども。

○嶺岸教育委員会教育長 私としては、今は教育長ですけれども、前任は阿蘇米本学園の初代校長ということで、その前については教育次長として、開校に当たっての住民説明会等を含めた、その辺りの長きにわたってのストーリーを振り返る中で、まずもって、この阿蘇・米本に義務教育学校をということで、スタートから見ると 12 年かかっていました。この 12 年というのは本当にある意味、子供たちにとってみれば、小一から高校卒業ぐらいの年齢になってくるので、やはりその歴史の中で私は何が一番言いたいかというと、そこに住む方々の思いがあった学校、そして子供たちの歓声とか、子供たちのそういった学びが、今そこの街にないという中で、そして石井委員がおっしゃった部分の中で、郷土に住む方々、そしてそこに生きてきた、そして子供たちの心とか思いに寄り添った形の中でのこの跡地活用が、本当に円滑かつ最適化を求めていかなくてはいけないかなと。

その中で、最後になりますけれども、具体的に石井委員が言ったように、また今、資産管理課等含めて企画部から説明があったことを含めて、もちろん文化財の保管場所という、そういった文化スペース的な部分も大切な部分だと思いますし、また、阿蘇・米本を含めた阿蘇小が大切にしてきた周郷博文庫ですか、そういった文化的な部分を含めたスペースとして、何よりもそこをよりどころにしていた方々の居場所としての三つの要素を本当に大切しながら、急ぎたいところでありますけれども、やはりそのような思いの中で、みんなでどのような形がいいのかということを、時間はかかりますけれども、よりよいものを作っていくことがいいのではないかなど。

ちょっと答えになっていないのですけれども、すみません。

○加藤指導課長 旧 3 校の利活用についてですが、具体的な取組ということで指導課から情報提供させていただきます。

既にご存じかもしませんが、阿蘇米本学園の 8 年生が中心となりまして、阿蘇・米本地区が今後も地域の方々に愛され続ける地域であることを願って、産学官連携による S D G s の共同プロジェクトの一環として、「君とあそフェス」というイベントを実施することになっております。

具体的には、1 月 31 日に旧阿蘇小学校の校舎の一部、体育館及びグラウンドを会場としまして、地域の店舗の商品を生徒が販売したり、阿蘇米本学園に統合された旧 4 校の歴史や特色を紹介するブースを設置したりするな

ど、阿蘇米本地区の魅力を広く発信するイベントを行います。

このように、旧阿蘇小学校を地域学習と交流の拠点として、有効活用される一例がございましたのでお伝えさせていただきました。

○服部市長 昨日ちょうど定例記者会見があって、阿蘇米本学園の8年生の子たちからそういう提案がありました。特に阿蘇小学校の卒業生の人たちが喜んでいるらしいですよ。阿蘇小学校の歴史について、皆さんのが持っている写真とか資料を展示するらしくて、阿蘇小学校の卒業生がすごく楽しみにしている。これはもしかすると、SDGsの取組として阿蘇米本学園の子どもたちが、毎年のようにこの時期に「君とあそフェス」をやるようになると、資料を出せなかった卒業生の人たちも出してくれるかもしれないし、大きな取組になるのを期待したいなど。

31日は行くつもりでいたのですけれども、もしかすると27日以降、選挙になるかもしれないから行けなくなってしまうかもしれません、時間が許せば行こうと思っています。

○服部市長 他にございますか。川嶋委員。

○川嶋委員 3校跡地の関係なのですけれども、校舎はそういう形でいろいろと検討されていると。体育館に関しては学校施設でなくなってしまう形ですので。ただ、小学校体育館はエアコン設置になりますよね。3校に関しては外れてしまう形で、災害時の避難場所、選挙の場所、あと体育館を一般市民が使っていますよね。そういう形だと、その3校だけエアコンがない状態になってしまうのではないかと思います。これは教育委員会だけでなく市長部局とも関係すると思うのですけれども、やはりその点、今後どういう形で検討されるかどうか、なるべく他の学校と格差がないような形で検討されたほうがいいのではないかと思いますので、意見としてお話をしました。

○服部市長 ちなみに、資産管理課と企画経営課のほうでその辺はすり合わせて、8年度の夏までに中学校の体育館にエアコンを入れて、翌年の小学校体育館に入れるという、今話が出たように、3校の場合は廃校になっているから、学校体育館でなくなっているので、その3校の体育館のエアコンについての議論というのはしているの、していないの。

○加瀬企画部次長（企画経営課長事務取扱い） 企画部と財務部との間の情報共有としては今のところございませんが、エアコンとなると教育委員会の

ほうでの設置もあるので、恐らくは用意はされていないのかなというふうに思いますけれども。

○渡邊教育総務課長 今ご指摘のありましたとおり、学校の体育館、こちらにつきましては市長の言われたとおり、中学校であれば今年の7月、それから小学校は令和9年の夏ということで事業を進めております。

これにつきましては、国の補助金、あるいは起債のような財源を活用した事業でございまして、教育委員会といたしましては、基本的には学校活動を中心とした、また、万一の際にはもちろん使えるというような形で整備を進めているのですが、学校が閉じた状態となってまいりますと、やはり財源の問題がちょっと課題となっておりまして、災害対応部門である危機管理課を中心に検討が進められていると思うのですけれども、今後もそちらと協議を進めてまいりたいと考えています。

○服部市長 一応提案なのですけれども、阿蘇米本学園は義務教育学校ということで、この夏までにエアコンも入るのだよね。実は1年余裕があつて小学校の対応になるので、そこに向けて今言ったように教育委員会と資産管理課と危機管理課を含めて話をして、何とかエアコンの設置ができるような方向で議論する必要があるのではないかという感想です。確約ではございませんけれども。

○川嶋委員 なるべく格差が出ないような形でお願いできればと思います。

○服部市長 他にございますか。教育委員会。

○大野文化・スポーツ課長 先ほどの市長表敬訪問時の萱田ジュニアバレーボールクラブの全国大会での成績について回答させていただきます。

全国大会には出場いたしましたが、惜しくも予選リーグで敗退となってしまったとの報告を受けました。

○服部市長 市長部局とも情報共有しておいてください。ありがとうございました。

9 閉会

○服部市長

これをもちまして、令和7年度第1回総合教育会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。